

向学

徳之島高等学校 進路通信
進路指導部 進路情報係 第6号
発行日 R6.11.15(金)



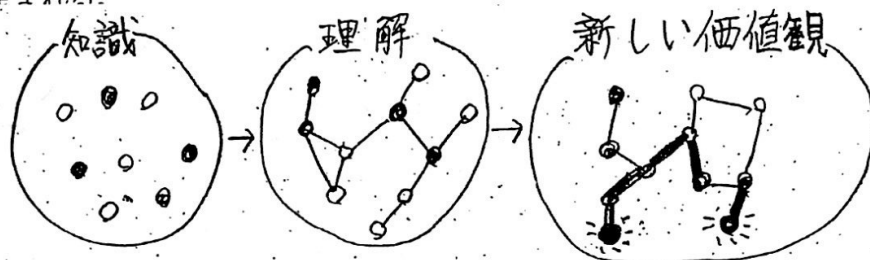
○勉強へのハマリ方

皆さん、これまでに勉強に「ハマった」ことはありますか？

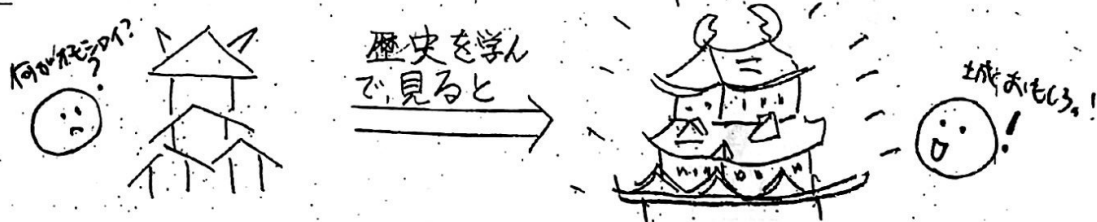
「なんで勉強しないといけないんだろう？」「何の役に立つんだろう？」「昔の歴史のことを覚えて何になるの？」「理科？訳わからん！」などの声が聞こえてきそうです。「向学」第5号でも示されたように学習時間が少ないことが徳高生の課題です。各教科の先生方からも学ぶことの意義や学び方を教わっていると思いますが、「勉強にハマる」つまり、どうすれば勉強が楽しくなるか？あの「ビリギャル」さんの著書から、その方法を紹介します。

例えば「坂本龍馬」を知ろうとすると、ただ単に「坂本龍馬」と書いて暗記しても意味がない。

坂本さんはもう亡くなってずいぶん経つのに、なんで今もヒーローみたいに扱われる？どんな人たちとつながって、どんな貢献をした？もう少し長く生きていたら、どんなことが起こっていたのだろう？こういう問いかけをしながら、個性豊かな登場人物の生き方のドラマを楽しむ感覚で調べ、学ぶことで、いろいろな出来事や人物も自然と覚えられる。そしてその知識がつながり深い理解となり、新しい価値観も生まれる。



私の地元の「名古屋城」、知識ゼロのギャルだったころ見に行った時、何が面白いのか1ミリもわからなくて10分で帰ったんだよね。でも、歴史を勉強してからもう一度行ったら、「城おもしろっ！」ってなった。徳川家が豊臣家と緊迫状態にあったとき、わざわざ大阪の方を向いた城を建てた。これは「来るなら来い！」という壮大な威嚇とも云われているらしい。この城を舞台にどんなドラマがあったのかを知ると、それまで自分には何の意味ももたなかったものが、突然色鮮やかにくっきりと見えてくる。



あなたが学んでいることのひとつひとつがどんなふうに日常生活につながり、未来につながっているかを考える余裕はないかもしれないけれど、すべてが、あなたが生きていくうえで「生きた知識」「新たな出会い」となり得るものです。

「テストのための暗記」にするのか「生きた知識」「新しい価値観との出会い」の糧にするのかは、あなた次第。でも、テストで高い点数を取りやすいのも後者のほうです。

(「私はこうして勉強にハマった」(ビリギャル本人さやか著)より)